

## 平成 27 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

## 1. 集落の状況及び集落協定の概要

都道県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：伊良部島

協定締結集落名：佐良浜漁業集落

交付金額：3,672 千円（基本交付金のみ）

協定参加世帯数：45 人（うち漁業世帯 27 人）

集落漁業者平均所得：1,166 千円

## 2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や創意工夫を活かした取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、佐良浜集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

## 3. 取組の内容

## ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

## ◇産卵場・育成場の整備

一本釣漁業の漁獲量安定に向け、アオリイカ産卵床を 8 基設置した。

実施状況写真



アンカー投下



設置の様子

◇漁場の管理・改善（サメ駆除）

漁業被害をもたらしているサメの駆除を実施。

実施状況写真



駆除の状況



回収されたサメ

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

◇低・未利用資源の活用

安価で取引または廃棄されてしまう小マグロ・カツオの活用に向け、先進地視察等の取組等を実施。

実施状況写真



加工場視察の様子



研修勉強会の様子

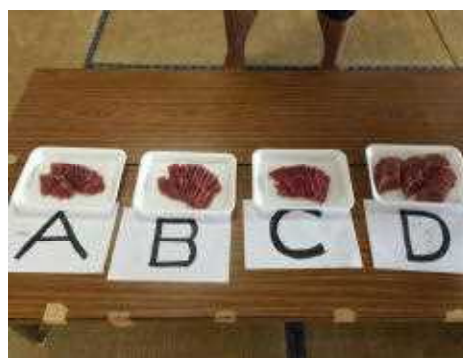
◇高付加価値化

鮮度保持等についての先進地視察、マグロヤケ対策試験調査等の取組を実施。

実施状況写真



先進地視察(国頭)



マグロヤケ対策官能試験サンプル

◇その他（魚食普及の取組）

一般市民への魚食普及に向けたイベント（お魚まつり）の実施。

実施状況写真



模擬釣り体験の様子



鮮魚販売の様子

#### 4. 取組の成果

漁場の生産力の向上に関する取組においては、アオリイカ産卵床の設置により、今後、一本釣漁業の漁獲量安定に資することが期待され、また、サメ駆除の実施により漁業被害の軽減が見込まれ、一本釣り、曳き縄漁業等の安全操業の確保及び漁獲量の安定が期待される。

漁業の再生に関する実践的な取組のうち、低・未利用資源の活用取組及び高付加価値化の取組においては、先進地視察やマグロヤケ対策試験等により漁獲物の価値向上、新たな出荷体制の確立が見込まれ、集落の所得向上が期待できる。また、お魚まつりの開催によって、普段水産物に触れる機会の少ない市街地の住民との交流が図られ、地元水産物の消費量増加につながる活動が実施でき、水産物資源の管理の重要性についても広く普及啓発することができた。